



プレーパークニュース

NO. 7

プレーパーク体験会「プレーパークってなんだろう？ ～体験しながら考える。子どもとアソビと地域の未来～」を 実施しました！

- ◆日時 令和4年11月19日(土)午後1時から午後4時まで
 - ◆場所 平成こども塾
 - ◆講師 萩原ナバ裕作氏とプレーリーダー1人
 - ◆参加者 大人8人、子ども10人、幼児3人
- ※ 今回定員30人(親子)で募集し定員以上の応募がありましたが、キャンセルがあり上記人数となりました。



講師について



【講師(萩原ナバ裕作氏)プロフィール】

岐阜県立森林文化アカデミー教授
 学生時代、国内のインタープリターの先駆者である小林毅氏に拾われインタープリターの道へ。その後、オーストラリアに渡りエコツアーガイド、野生動物番組制作を経てタスマニア島で家族とのんびり永住していたら急遽、小林毅氏に誘われ2007年現職に就く。

野外自主保育「森のだんごむし」や「みのプレーパーク」「morinos(モリノス)」などの言い出しっぺ。共著に「インタープリタートレーニング」(ナカニシヤ出版)。

スケジュール

午後1時00分 挨拶、講師紹介
 10分 お話し会
 「プレーパークとは」
 30分 プレーパーク体験開始

午後3時30分 プレーパーク体験終了
 ふりかえり
 50分 アンケート記入
 午後4時00分 終了

🌳 体験会の様子 🌳



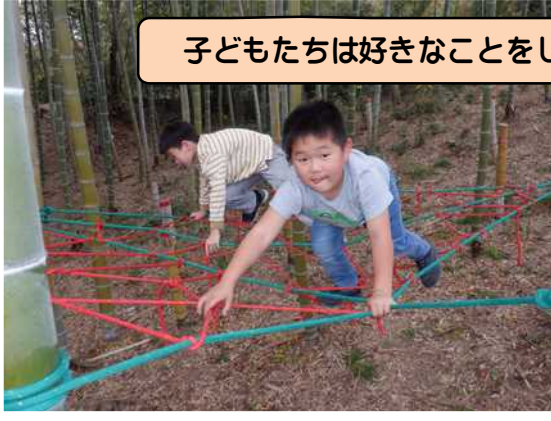
プレーパークってなに？



始めに親だけで挨拶がてら竹を使ったゲームを行う



子どもたちは好きなことをして遊ぶ



大人だけでふりかえり

お話し会概要

- ・自由に遊ぶのが大切
- ・なぜアソビが大切なのか。
 - デンマークへ行った際に言われた言葉に衝撃を受ける。
「アソビで空間を作り出す力や自分で考えることは、自分の国を作ることにつながる。」
- ・危険なアソビが楽しいアソビ
 - 大げがしないように見守る。
- ・大人の目が多くて子どもが自由に遊べない。
- ・プレーパークのスローガン「心が折れるより、骨が折れたほうがまし」
 - 「自分の責任で自由に遊ぶ」ことが大事

参加保護者アンケートまとめ

- ・子どもとの遊びは今まで親主導だったが、子どもが自分で遊べることを学んだ。
- ・近所の公園では、他の親の目が気になって自由に遊ばせられないが、ここは自由で良かった。
- ・見守ることが大事だとわかった。
- ・今まで自由にさせているつもりだったが、自由に遊ばせることを改めて考えた。
- ・初めのゲームで親同士のコミュニケーションが取れて良かった。
- ・プレーパークというものに対してみんなの共通認識が大事だと思う。
 - 少しづつ輪を広げていくことが大事
- ・周りの人に迷惑をかけないようにと思うとなかなか近所の公園で遊ばせられないし、親もストレスになっている。今日は気づくと子どもが勝手に遊んでいて良かった。
- ・プレーパークが好き。口を出さないようにするのが難しいが、今日は(子どもと一緒にではなかった)のでそれが達成できて良かった。

講師関連情報

- 岐阜県立森林文化アカデミーURL <https://www.forest.ac.jp/>
- 森林教育総合センター(モリノス)URL <https://morinos.net/>

お知らせ **「プレーパークニュース」バックナンバー**

プレーパークについての活動を記録したニュースレター「プレーパークニュース」を市のホームページからご覧いただけます。

[長久手市役所ホームページ](#) > [子育て・教育](#) > [平成こども塾](#) > [プレーパークニュース](#)

【問合せ先】 〒480-1311 長久手市福井 1590-50 長久手市平成こども塾
☎:0561-64-0045 e-mail:kodomojuku@nagakute.aichi.jp